

・「A Close Look at Therapeutic Touch」 Linda Rosa, BSN, RN; Emily Rosa; Larry Sarner; Stephen Barrett, MD, JAMA. 1998;279(13):1005-1010. doi:10.1001/jama.279.13.1005.

・「ハンドパワーに「裏付けなし」 福岡の会社に賠償命じる」 2014年3月28日22時43分、朝日新聞デジタル

手をかざして病気が治るとうたった「ハンドパワー」などを習得するセミナー名目で受講料をだまし取られたとして、福岡や愛知など1都8県の47人が、福岡県篠栗町のセミナー企画会社アースハートや同社幹部らに約7100万円の損害賠償を求めた訴訟で、福岡地裁は28日、同社側に約4805万円の支払いを命じる判決を言い渡した。

平田豊裁判長は、ハンドパワーについて「科学的・医学的な裏付けがないと言わざるを得ない」と指摘。セミナーへの勧誘システムについても違法性を認定した。アースハートをめぐる訴訟は名古屋地裁、静岡地裁浜松支部でも起きており、今回が初めての判決。

一方、原告側の感謝料については認められず、弁護士は控訴を検討。同社は「弁護士と相談し、控訴するかどうかを検討したい」とコメントした。判決を受け、原告弁護士は30日午前10時～午後4時に無料電話相談(092・735・4777)を受け付ける。

・「職員夫婦猶予判決で新健康協会の危険性が明らかに」 やや日刊カルト新聞、2010年7月17日土曜日

・「乳児遺棄致死、手かざして治ると信じた両親に執行猶予」(2010年7月17日 読売新聞)

・「長男死なせた両親に猶予判決＝教義基づき医療放棄 - 福岡地裁」 時事ドットコム、(2010/07/16-19:42)

・「「受診させず乳児死亡、両親 起訴事実認める」」(2010年7月13日 読売新聞、九州発)

・「2人交代で一日中“手かざし”」 RKB Local News, 07/12 19:56

・「殺人容疑：7カ月の長男受診させず 宗教法人職員夫婦逮捕」 毎日新聞 - 01月14日 00:34

福岡県警は13日、衰弱した生後7カ月の長男を受診させず殺害したとして、いずれも宗教法人職員の福岡市東区唐原4、高月秀雄容疑者(32)と妻邦子容疑者(30)を殺人容疑で逮捕した。県警によると、自然治癒による回復を教えとする宗教の信者で、手かざしなどによる「浄霊」と呼ばれる方法で治そうとしていた。「医療行為を受けさせればよかったと後悔している」と、大筋で容疑を認めているという。

逮捕容疑は、アトピー性皮膚炎を発症した長男の嘉彦ちゃんに適切な診療を受けさせず、昨年10月9日午後8時ごろ、感染による敗血症で死亡させたとしている。

県警によると、嘉彦ちゃんは母乳などの食事は与えられていたが、アトピー性皮膚炎で衰弱し、食事がとれない状態だったという。県警は治療を受けさせなかったことが死亡につながったと判断し、殺人容疑での逮捕に踏み切った。

同10月9日夜、嘉彦ちゃんの意識がもうろうとしていることに気付いた秀雄容疑者が119番したが、搬送先の病院で死亡が確認された。死亡時の体重は通常の乳児の半程度程度の4.3キロしかなく、アトピーで体の皮膚の多くがはがれた状態だった。病院が診療を故意に受けさせない「医療ネグレクト」の可能性があると県警に通報した。

秀雄容疑者は調べに対し「病院に行こうと思ったが判断が遅れ、見殺しにしてしまった」と供述している。邦子容疑者は「自分も母親に同じように育てられており、自然の力で絶対に治ると思った」と話しているという。

・「ほかの信者も「治療」に参加＝医療放棄の長男殺害 - 福岡県警」 時事通信 (2010/01/14 -10:38)

ほかの信者も「治療」に参加 = 医療放棄の長男殺害 - 福岡県警

生後7カ月の病気の長男を、宗教上の理由から病院に連れて行かずに死なせたとして、福岡市東区の宗教法人「新健康協会」本部の職員夫婦が殺人容疑で逮捕された事件で、同協会のほかの信者が長男の「治療」にかかわっていたことが14日、福岡県警東署捜査本部への取材で分かった。

高月秀雄（32）、邦子（30）両容疑者は、長男嘉彦ちゃんが生後2、3カ月でアトピー性皮膚炎を発症し、細菌感染で重篤な状態になったにもかかわらず、協会の教義に従って手をかざすことで病気を治すという「浄霊」や「御霊紙」と呼ぶ和紙を張り付けるなどしただけで、病院には連れて行かず、敗血症で死なせたとされる。

捜査関係者によると、ほかの信者数人も両容疑者の自宅を訪れ、浄霊を行っていた。夫妻だけでは嘉彦ちゃんの症状が改善しなかったため、協会の中でも「より力がある」とされる信者が加わった。

- ・「手かざしの被害者」 Archives, 2010/01/14
- ・「乳児治療放棄 福岡県警「新健康協会」を捜索 容疑者の夫妻入信」 西日本新聞, 2010年1月14日 13:36
- ・「乳児死亡事件で宗教団体を捜索 / 両親が入信、福岡県警」 四国新聞, 2010/01/14 10:24
- ・「細菌感染の乳児、治療させず放置 殺人容疑で両親逮捕」 日本経済新聞, 2010年1月14日
- ・「乳児死亡「新健康協会」の浄霊治療教義」 やや日刊カルト新聞, 2010年1月14日木曜日

- ・「アトピー治療させず「手かざし」、乳児死亡」(読売新聞 - 01月13日 23:44)

福岡県警は13日、病気の長男(生後7か月)に医師の治療を受けさせず、死亡させたとし、両親で宗教団体職員の福岡市東区唐原4、高月秀雄(32)、邦子(30)両容疑者を殺人容疑で逮捕した。

両容疑者は、患部に手をかざす「浄霊」という行為で病気を治そうとしていた。容疑を認めているという。

発表によると、両容疑者は、長男の嘉彦ちゃんが重度のアトピー性皮膚炎などで衰弱しているのに、病院で治療を受けさせず、昨年10月、自宅で寝かせたまま敗血症で死亡させた疑い。

この宗教団体の本部は福岡市東区にあり、全国に約1万人の信者がいるという。秀雄容疑者は小学生、邦子容疑者は中学生の時に入信し、両容疑者の親も信者だった。

嘉彦ちゃんは昨年2月に生まれ、2、3か月後にアトピー性皮膚炎を発症。黄色ブドウ球菌などの細菌に感染して気管支肺炎を併発し、衰弱した。死亡時の体重は平均の半分の4.3キログラムだった。両容疑者は、宗教団体の教義に従い、手をかざすなどの行為を繰り返していたという。秀雄容疑者が嘉彦ちゃんが呼吸をしていないことに気づいて119番し、搬送先の病院で死亡が確認された。

秀雄容疑者は「信仰を重んじて病院へ行かなかった。子供を見殺しにしてしまった。邦子容疑者は「人間本来の自然治癒力で良くなると信じていた。後悔している」と供述しているという。

宗教団体は県警に対し、「自然治癒を勧めているが、信者に病院に行くことは禁じていない」と説明しているという。

- ・「治療受けさせず乳児死亡 宗教信者の両親に殺人容疑」 47NEWS, 2010/01/13 21:04

低体重で、アトピー性皮膚炎を患う生後7カ月の長男に治療を受けさせず、感染症で死なせたとして福岡県警は13日、殺人容疑で父高月秀雄容疑者(32)と、母邦子容疑者(30)を逮捕した。県警によると、2人は福岡市に本部がある宗教法人職員で、信者。手をかざす「浄霊」と呼ばれる行為で長男を治そうとしていたという。

親が合理的な理由なく、子どもに治療を受けさせない問題は「医療ネグレクト」と呼ばれ、児童虐待に当たる。県警によると、両容疑者は「自然治癒能力を信じており、手がさしで治ると思っていた」と供述している。

逮捕容疑は、昨年2月に生まれた長男嘉彦ちゃんの体重が減り、アトピー性皮膚炎の悪化で感染症にかかりやすい状態だったのに医療機関を受診させず、同10月9日、細菌感染による敗血症で死なせた疑い。死亡当日は、嘉彦ちゃんが息をしないのに秀雄容疑者が気づき119番。病院から「医療ネグレクトの疑いがある」と通報があり、県警が捜査していた。

・「宗教理由に長男治療せず放置 両親を殺人容疑で逮捕」 2010/01/13 西日本新聞

生後7カ月の長男に適切な医学的治療を受けさせずに死亡させたとして、福岡県警は13日、殺人の疑いで、福岡市東区唐原4丁目、宗教法人職員高月秀雄容疑者(32)と、妻の同邦子容疑者(30)を逮捕した。2人はともに同区に本部がある宗教法人の長年の信者で、同法人は近代医療を否定している。県警は、宗教の教えを理由に子どもに必要な治療を拒んだ「医療ネグレクト」に当たると判断。関係者によると、児童虐待をめぐり、医療ネグレクトを殺人容疑で立件するのは異例という。

2人の逮捕容疑は、長男嘉彦ちゃんが発育不十分で重いアトピー性皮膚炎などを患っていたのに、法人が提唱する手をかさは病気が治癒するという「浄霊(じょうれい)」をしただけで、適切な治療を受けさせないまま放置。昨年10月9日夜、自宅で敗血症により死亡させた疑い。

秀雄容疑者は「病院に行く判断が遅れた」、邦子容疑者は「今まで通りの育て方で治ると信じていた」と供述。いずれも容疑を認めているという。県警によると、嘉彦ちゃんは3400グラムで出生し、死亡時は4300グラム。7カ月児の平均体重の半分ほどだったという。

この宗教法人の顧問弁護士は西日本新聞の取材に対し「(法人は)近代医療を否定しているが、病院を受診をするかは個人の自由で強制はしていない」としている。

・「乳児死亡で両親入信の「新健康協会」 捜索記事を印刷する」 nikkansports [2010年1月14日 11時39分]

福岡市で昨年10月、低体重でアトピー性皮膚炎の乳児に手がさしによる「浄霊」をし、病院での治療を受けさせずに死なせたとして殺人容疑で父高月秀雄容疑者(32)と母邦子容疑者(30)が逮捕された事件で、福岡県警は14日、2人が入信し、職員として勤務する福岡市東区の宗教団体「新健康協会」総本部を関係先として家宅捜索した。

県警によると、死亡したのは両容疑者の長男嘉彦ちゃん(当時7カ月)で、両容疑者は「手をかさは治ると思っていた」と供述。秀雄容疑者は小学生の時から、邦子容疑者も中学時代からの熱心な信者で、両容疑者の親も信者だった。

ほかの複数の信者も嘉彦ちゃんに手がさしをしていたといい、県警は教義の内容や、死亡までの経緯の把握を進める。

新健康協会のホームページや捜査関係者によると、同協会は九州をはじめ北海道や関東、関西地方などに支部など70カ所以上の関連施設があり、約1万人の信者がいる。

一方、保健師らが市の家庭訪問事業で、両容疑者の自宅を2回訪ねながら嘉彦ちゃんと会えず、体重減少などの異常を把握できていなかったことも判明。親が子どもに治療を受けさせない「医療ネグレクト」は身体的虐待と比べ周囲が気づきにくく、ハイリスク家庭の把握には訪問事業が重要な機会で、今後課題を残した格好だ。

福岡市によると昨年5月、乳児がいる家庭の育児相談のため民生委員が訪問。邦子容疑者から「赤ちゃんが泣いていて手が離せない」と断られ、嘉彦ちゃんの様子を確認できなかった。同9月には、嘉彦ちゃんが4カ月健診を受けていなかったため保健師が訪問したが留守だった。市の担当者は「結果として見逃してしまったことは残念」としている。(共同)

・「乳児治療せず死亡 生後7カ月 両親に殺人容疑 福岡県警捜査」 西日本新聞 - 2010年1月13日

・「7カ月長男死なせる＝病院行かずに「手がさし」 - 両親を殺人容疑で逮捕・福岡県警」時事通信 (2010/01/13-21:41)